



2025.04.01

学校長：山城 篤（やましろ あつし）

学校長あいさつ

沖縄県立八重山農林高等学校は、昭和 12 年の開校以来、「愛郷愛土」の精神を大切に、八重山の自然とともに歩んできた農業系専門高校です。校章に込められた「瑞穂と大地」は、地域農業を支える稲穂と、生徒の志を象徴しています。

本校は「地域に根ざし、地域とともに発展する農業高校」として、農業をはじめ多様な分野で活躍できる人材の育成に努めています。知識や技術の習得はもちろん、伝統文化の継承や探究心、職業観・勤労観を育み、生徒が将来を主体的に選び取れるよう支援しています。

6 次産業化学習も本校の大きな特色であり、生産から加工・販売までを一貫して学ぶことで、実践的かつ創造的な力を育むとともに、地域企業等との連携により、地域課題の解決に取り組む力や、持続可能な社会を支える実践力を養っています。各学科では、多岐にわたる専門分野の学びを深めるとともに、インターンシップや地域イベントへの参加を通じて、地域社会とつながる学びを展開しています。

現代社会は、急速な変化とともに不確実性が増す時代です。農林業の分野でも新たな価値観や技術への対応が求められています。そうした中で、本校は ICT の活用や探究的な学びにも力を入れており、基礎学力の定着、資格取得、部活動、農業クラブなどを通じて、生徒の個性と可能性を引き出しています。

今年度、本校では「ジブンゴトとして考える」というキーワードを掲げています。授業や学校行事、進路選択など、すべてを「自分ごと」として主体的にとらえ、考え、行動する力を育てたいと考えています。また、「かかわる力」「ふり返る力」「やりぬく力」「みとおす力」という 4 つの力を意識し、生徒一人ひとりが自分の可能性を広げていくことを期待しています。

変化の激しい時代にあっても、自ら学び、自ら考え、地域社会に貢献できる人材の育成と生徒一人ひとりが夢と誇りを持ち、自分らしい未来を切り拓けるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいります。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

「未来へ 夢を描き 拓く」